



(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322



常日頃、峰岸商会をご利用いただきましてありがとうございます。  
3月となり、春がだんだんと近くに感じられる季節ですが、まだまだ  
寒い日が多く、体調管理には気を付けて頂きたいと思ひます。  
さて、今回は**砲金材**についてご紹介させて頂きたいと思ひます。  
(上野原営業所 山田)



＜編集者＞  
塚原 佳由  
望月 博隆  
村松 貴  
赤木 健三  
山田 幸平

## 鋼種 Q & A ~砲金材について~

**砲金**とは銅合金の種類であり、銅90%錫(スズ)10%の組織で構成されている銅合金のことを一般に砲金と呼んでおり青銅の種類に含まれます。最近では鋳物用の銅合金という意味合いもあり、鉛やニッケルを加えることも有ります。大砲の砲身に使用されていた材料ということからガンメタルと呼ばれ、日本語として砲金と呼ばれるようになったようです。青銅鋳物は、銅合金の中で最も鋳造性が良い材質です。しかし鋳鉄鋳物に比べて収縮が大きく、不純物等の影響が有るので十分な注意が必要です。代表的に使用されている物として、バルブ、シートリング、ナット、スリーブ、歯車、軸受などの機械部品などに鋳造品として多く使用されています。種類として丸材、板材、パイプが有ります。

特性としては、

- ①電気伝導、熱伝導が良い
- ②適度な強度を持っている
- ③耐圧性に優れている
- ④耐食性に優れている
- ⑤耐摩耗性に優れている
- ⑥軸受特性に優れている
- ⑦綺麗である



【BC-1】 湯流れ、被削性が良い。バルブ・注水機・軸受・一般機械部品に使用。

【BC-2】 耐圧性、耐摩耗性、耐腐食性が良い。  
軸受・スリーブ・プッシュ・ポンプ胴体・羽根車・バルブ・歯車船用窓・電動機械部品などに使用。

【BC-3】 耐食性がBC-2よりもやや優れている。使用用途はBC-2とほぼ同じで一般機械部品にも使用。

【BC-6】 耐圧性、耐摩耗性、耐腐食性、鋳造性が良い。  
バルブ・ポンプ胴体・羽根車・給水栓・軸受・スリーブ・プッシュ・一般機械部品に使用。

【BC-7】 機械的性質がBC-6よりもやや優れている。軸受・小型ポンプ・バルブ・燃料ポンプ・一般機械部品などに使用。

一般に、BC-6の使用が多くなっております。当社でもBC-6を使用させて頂いております。

### ★社長のワンポイント★

経済産業省の2015年度第4四半期(2016年1月~3月期)の鋼材需要見通しの中身を見ると、前期比▲0.5%横ばい、前年同期比では▲2.8%減少、2389万トンの見通しで、【建設部門】では、前期比では、季節的要因により減少。前期日では土木部門は横ばい、建設部門は住宅が前年を上回ることや非住宅は物流施設構築需要等が堅調に推移することが見込まれることから、建設部門全体では、前年より微増。【製造部門】では、前期比では、季節的要因により自動車や電気機械向け需要が増加。前年同期比では、自動車需要は消費税増税後の反動減の一巡等により前年を上回るものの、建設機械が排ガス規制による反動減や中国・ASEAN等の需要低迷により減少することから産業機械需要が減少し、製造部門全体では減少。【鋼材輸出】前期比微減、前年同月比では減少。エネルギー関連需要の減少やASEAN等のアジアでの自動車需要の低迷、また鋼材の過剰供給により輸出環境が悪化している事により減少。(経済産業省製造産業局鉄鋼課課長 山下様談)ということ、昨年と比べ数値的にも国内、世界共に鉄鋼需要が大きく変化しております。中国から世界に対して鉄鉱石の低価格輸出そして、ピレットの低価格販売。これに端を発して追い打ちをかけるように、ヨーロッパでの鉄余り状態そして日本国内でのスクラップ価格の異常な低価格で製鋼メーカーの市場調整が始まることの話。全て作りすぎという中国市場の乱調から発している鉄余り状態。世界経済という枠組みの中で中国が統制できない経済が多大な影響を及ぼしていることは間違いないようです。今後私達の製造業が置かれている環境の中で、いかに世界の中の日本そして山梨ということを考えて、動かないと時流に流され大変な事になってしまいます。山梨の製造業の底力は一体何なのか、当社も製造業の一翼を担っておりますので、精一杯奮闘してまいります。

### ★国中エリア★ 塚原佳由

1月から少しずつ仕事量が下降気味だった状況は、2月に入っても変わることなく続いているように感じています。半導体関係では、組立作業が忙しく動いているようですが、製品加工での動きは若干落ち着き始めています。車関係では愛知製鋼の火災でトヨタの生産ラインが1週間止まりましたが、県内における企業への影響はなかったようです。トラックに関しては昨年からの状況とほとんど変わりなく高稼働をキープしております。機械メーカーは依然として厳しい状況と聞きます。海外向けの受注が前年と比べてもかなり減少している様子です。県内全体に稼働は落ち着き始めている様に感じますが、1~2カ月の間に稼働率が上がって行くような話も聞きます。前向きな姿勢で日々頑張っていきたいと思ひます。

### ★都内エリア★ 望月博隆

1月は突発や大きい物件もあり、かなり良い結果ではありましたが全体を見て厳しいのが現状です。年始の駆け込みめなのが有り配達件数は12月とくらべて増加はしましたが、量が非常に少ないといった感じでした。2月に入り上半旬は1月のなごりがありましたが、日に日に悪くなっていきます。県内はもちろんの事、県外においても仕事量はかなり減っているそうです。都内大手企業では、1月から動きがあり忙しくなっているそうです。半導体関係では現状変わらず、T社につきましては動くはありましたが仕事量では普通といった感じでした。工作機械メーカーでは、M社は変わらず、F社のロボット系は多少の動きがあるもののMCは厳しいそうです。自動車関係も乗用車のH社は減産。トラック系も落ち着いています。世界情勢においても中国経済停滞、原油単価下落、アメリカ金利引き上げ、そして日本のマイナス金利、EU中心であるドイツ危機(難民数増加等で財政難)と危険な歯車が合い始めています。引き続き動向を見つつ見守っていきたくと思ひます。

### ★上野原エリア★ 山田幸平

2月に入り1月のような慌たしさは落ち着いたように感じております。依然としてエコカー、大型車、医療機器系は、仕事量の変動は少なかつたように思ひます。しかし全体的に見てみると仕事量が減少気味なような感じがします。半導体関係は1月下旬から2月前半までは減少傾向でしたが、2月最終あたりから少しバタバタ感が出て来ています。東京、埼玉、神奈川方面では、加工する材質にもよりますが大きな変動は無いようですが、板材の仕事は減少傾向で、旋盤加工する部署が忙しいとのことをお話を聞いております。エリア全体でも新しい案件が少ない、4月~5月までは少ない見込み、と話されるお客様が多いです。しかし3月下旬辺りから重機関係の仕事は忙しくなりそうとのこともお話を聞いております。厳しい状況が長く続いています。3月からもしっかりと動向を探り、良い情報を発信出来るように行動したいと思ひます。